## 法政大学学術機関リポジトリ

## HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-06-01

## 元亀慶長能見聞



しなカラスクタイラタリニッみもしたカメミラ 一校殿 家家是债不舍中十月之後民候" 一角り子とオナックミテカラウムニンクカカン スピョウキランハ下テ、下ックヨキニルットノノ ナライダルミテノ芝ト也中入スラリトラトナル 八町分りオホエスシナリテ井サノ方へユキ 出経ワウモノメケチメイワクシャウキノニテ

・ 十回京後そび時二をひろりしますかくメヤノキッナに スキナカラをかーテスルソリカヘリメントムルヤ ウマウニワカフ メクラノリエヌ 父かりとうちニニワカウワカイヤウニテスエグラー 近りそへトモマタハラタイであいよノアタリニテ 十丁三人名人之小

タカンヤンないとりもにカイユラテルからなかりかりかくかりをすかれていまっていくかりますかから してくるセプカムことりき子内へれかと山りうへり 下メサクル行父之 メ公グスメチガリ

ハアウワライテをなく断テウワはモノダニ

同りしけきやりなっ 心にテ

イークラー天狗月ハクラマノソウシヤウカをガカへしカす シカクは上すらしてラシュランダキノメトラト 在長後とスノンエルメモミル又付たアモミをすころ

しまりしねる 松本墨しまでしてたいろう こるはナインとなりチワラヤリラ

大四三次とこと腹カラリホカとうカリを成 リリカが大型をして

切っすりたんりんれこ大三りれモドノける

サワタスイニテスル 豆なれうりとする人物グニンニアグランく

一るめってくとうセタ水衣正久ろう上大はたど 一カウ、花子イカワニナン 常立人的り八番松常フタイト核力

カリカカイインワレるが常してインまっこう

なしずかすくすが必由ニヤイノ方へ 大いともりりつれトラーとの合うけい小は

ムクシテュナタノーニナいからフニテいな時 女ろうカケテムグワレノスキノ方へてくちこ 幸ノぬターモワレトの食もすりワイトワナ りもノ方へ云きころり そろろくノス松化へ

くすすぬ内ワレモンナモナキへアスとなる 一十ラ人又とうするお成りもうまれ に像 トラアイシライテスと小はまかトナカラ

こつかそうりとい数すべりりつからこう ハウンロニッニッシャル 梅れブオップララ たらんなッナラナスやくれしては時上を公う ヘニオセンストー中へからかりかう下すするなる ヤーカラでりりテミテまりコタイニ食了 多之世 出し了村内へ了る女を飲 方かがかりやりかりトラクをして テカノヤーもへいきあり見まりとかりまり 出章ますうとりつきけんるプミラスツラ カケスサラエノエリたハナシテカキへん今記 ニタクエタススオロス上へり後ろフタイとへん ルノュンノおノハリセウュンニョリテュレラス うな出しれれのけるのくりますしゃなりす 梅子リリステトララルノスラリトカカク 今まうからとヨリトレシキアレニテは 山高ノま一大ツミかち、ワクハウオラへりゃし 松りメテタカリケレマテミルサテ又たへら

たへゆうとりからうりんかを後半年 八十万人軍的人軍事南於元方八一丁儿 へ二寸せんましてるりと九二月ノ男を二十ワフタイ

まる月へ上又右かるへといいかるプラとちょう とはりれずからなるころをするころううとと タレントの人くうりかいきカクヤノ方へのきるい タイハイソトスルサスカイナニハカノノチラ タイハーマイト シリレッケショウラクショイ

一独して一個でするいるからの也かな男 イルイトシトムレ 初色文人人家教物人園書

一を女とはなるこけんこしくなかとな ちりあずりうちろをるいはいったノラク これないろんなけんでくてろうりろうろう デモ見ニティアなくかし、我男子とうま るなり人いあるわらというえんずりに をりていけれいですれむこくやしまういまく、 我也不是没是了他去我往

一人大大きはりを大人うなるこうかるは はりたからってからろ

リトアインライテことしぬされる

一枚りきる文ないかアントナリをないをしてきるこ おでなりけんうりトスケををすり ヨリ万わプシスユンテンでイタアルへとなすりい 超老而敢後

一を飲かしずりかえるときですしを数こう え 密飲海ばれ流は海夜里りはなるう

村二多変し えばことうとまし申バイソアクル時二下午

一なーウラョリからあるりからもちまり

一番するかをを強し彼がんりョりとヨリサンを をいてまりウワクシクチュウラく ちる金一個そうせるうなないなん

、投後に中上八個子 一関くというすーラクますと過でるり イカニモウツクシクコマカニアインライテ打ま

一つときではくくろんりろんはころうはこ 大教をとろ お後

一かりと三隻カト思んとおしりりトる大ちん ウインろんとううつでいる

一日ツカー人のしろれりとえと云なっきた とするとうイクスマンスルぞスル

一回了事所民人因为一百人年女七一日九十万 りト本时格力、り、けれトですりすりす ウンするりとこ後,内電子も「か ワデワカルテテのこちりまくすりたりラ

一十三ろなやカンタン、時花り一なイグック 大秋京武二人

一種り柳タグレフシ柳かりする下ちラワク ハイテ南アカサン屋

ちゅうとう

一てなど なのかなまとりますトスかニテ格ち なんでしますりないなって

一日五数打とこれとってかりりして多く

一カショリかか二版メッツ三版メカレラやん アカンタンするから ケサカケト・上二日きぬむ名 年まるとうちへんいれいりもくこんなずり たうかかるこれうちくとりオロナントンテリシス ウチワナわかり三版なるのですっなわたと 南九八十り八日之故の心度から今度 するりまうりと三個更他信人致敬 トスルウチはサモニリエル ワケタル二神ウシローインキンプスイワケクル

一種りをきしてエナノアりせてはまかんはあんな き又はいれたラオモテカケジュ

一女无初色丁自到七年十二日大大曲年一 山きしたられれてかし

一日ワト人り日トガイラワヨリかかス アクカクワンシーイヤウノ内へみてしんかとうとちな ノ白きませといいまでもりか

九七春か二月七百大四六年はこ本 をソクリラ

一二春天をとう日委日福かりこうでくかんか ーキューヤる出しりうとあり、からをほびゆ いちかがすっているとうりが笑か後が グカキラトサムアありりととナクル十日み きつてありとアカナメノ方ニテカキ たりて シワケナるよりけらかあへいかと日大儿が高ま 首うおがそれれるこやりテクラノラウオ ニケッアライナミと公師のジカクル将友ニ トリニアノスカタハルニナス不なるとうけったと 名かいととう飲むるのかりろう トスランライヨリカかラツノハウチョウをう カラからうちにんだけるな 年らうろうちますこヨりおもしてく コシナカスは からりりして日似とまってる大数を充みす 我也又必即 打とカンライカンノはりまきカイユ り大被 きなかりまでく今天はであるて小数 天正古門十百玄以外、殿下御成

うくようろうほう

一三面打筒字桶禮教招塔多人位小個大三 へり次月やアラスステカケル 小袖又カカナライヤウケン軍は中る一番手作力 フタイといゆうりけんがってくくいい

一支を人見してまる日山ウハヤキモンタイノなヤカラ 一下ありれたとうすと うち被きりねよりクフナントラミテアラも 出指カンリヨりるくかの中人かずしなまかり

一又る長日を又がふりこうのやろとヤックしろったけり 一な事りも名まう後アワレンテ笑心後ア月 ノトラリできちりん又きカケラソと言 取力十人方子自三一一一一一一一人不以前多个村 りおりた一九カリサイタリケルさラフタイ大き お上てからえかりた数クカヤスからり目られ以る キスこ小餃フカリモワックルタイイを返こ ウテキュエスなアイカワラにしてすく小物 ハキッキに乱ねるか物十カグラとことでねると

一二人用 オマリシワン神アルアイララタイえの 一り上りまりなくキノノアするスプルタトラは フトコロンベトマナレトモ会八女をおうきりする 日子名が考テにいか ワエラ南ニカセニメンラをヨりかいしんとイナ ノナン打技スクタランクラステすとううち 心とううなかこうなこまとる所得るはか りもは行りるとうなきハメラクはいりとてす 出なうりゃつりとすや十月方はれずこと ニニハニリリとグかられるトロト・フラテ張 キシワカナリ知らでメミルるメミルにすった ノりかりりかりかせて十上かん立まくろう タスランなるし枝ワイテかイカニマンケー生 メノタイと言いはりのもうあってかられる コロヨリ神ななな人し とんとグュアタムケンを トキテワキニワクス油う後テワクスワキ 女子かしう様へと初すらくすりかすとうな メフルヤウラスルサホトリナラ こうかりとすよと

フクショ

一三路日为五千万一十五一八百五千五千 少がカクラたハトルニ

やりくとうめばことりすえりりを出る男子 七日元一天人祝三久七十九 下九時三九二節了少城上年,直河里又

おれたうる日不小人人気のサケナラか しなるりを来ぬすしりっとまんせいようちま シんなしてあるもりしれるとうと

国寺山町シテ然のき僧児ラと三きな スイカン大ロネル 大致られる人はかな数できるの なりりかい 存被をトナリキリーストを干 テカン見のはアリイカーモセイラスタから ソメテモレホノサカクヤコトノいかカナメノ、方 キレンテ络かくうかれ ひラナラシックテラ 見ユリクリカミスモトナイチウケミスが

一个随和的时间寺不 天间 化学家打 ティスであるかりす 打いしかしかのからでりナノスラリトをく日起 は一日不新しりれやしかとうさき、シ

一ろい情を見ないまだい水を至久ふう上える 袋人たいおすとりにはして他不致クロして 山南一ツし傷トラクイノ 町三三十分人及被撃 山男、十二カころを大口十文也都是一般 冬日长二八月十百代七年七年安

越中し井十不一丁名後ノ彼公はこえんより ルクセーイ初日リンテ年したほとまま ノ右ノ方方を出すらりりけらりりずテサ かり小はとうウンテノガストラリテシ 松"テス 後書カフリ面をカリキ又大口名する

内をなけったうとれモトノストクイイトハ 定なるとうととは本ノ大宅が上名作わ いてきなかりうなやこる作わり内をり

一角田川白人衣此陳然的了七念佛 トンテ汁立商人立又なり田引まし ルントメるたべれが、カフリントたこ

とくかれから かっすかれなるイニなこから

一トラル笑刷下自寺 上寺子りノ合香ノ水衣 き」城と一方摘取り八月ラモ神およ 方面一行動を神ノクリブを帯本 テスは水ノ西ウナイリくみたんとい お後やボカフリカリカスサンス大橋 あうりなトクがらりとくすしタブメダ 物はずれてならうシラサラをイサヤワ 桶上五至各丁五忘了秋夜水 小路台了桶口名上面力之三十八件 方は後くこおり元格かりこうちなん エススキした人相ありすちりしりとテお石 取かなハソノ神にナントか

文派三十二月丁百七般學

一金れ二本日初セウクギャナブリも必 一後後 殿下部被女十十二出り年了十寸三 後けてイカニモンクラハンカいりヨリテニ 又クランやノキンラブハンキリ 女酸十こ 一そり後スタテニおテをプランテへり又り 行三人大ラを行きりとアクをかえアラ 人ノツーモリアカクル十九時些ア又大人 シュトウスリメニャナキノハモンスワウ大日 カクルカウやきしずれてくすうかりち へんランシャラテへキリハタマ 中へくなれるんありれ人りち二は人ろう シテクレヨリラアりかあめんとも たい一石都をカメンラクハンころう ノナンラノアツキンハッとい切を一きしっけん れずれの天神ノいののとろいううちったいなりないとれる大いないとれる大いとははないとんないといる をくりち三七版スワキュート文 八十一キシスモンキノスイカン右ノのたり

一些、食日九二五人多小方之五人中入名井》 一程、沢からすらかってんかっくうんし はおスイカン大日南之後十二失金四 あ土酸トュノフラッカラをほ シキリセンググスンライタリ ノなワリイナ枝スクハワヒハンキリや カンラを枝すいかりる大トとうから とう一多暖をしであせりはたカナリホ 衣大口いりちは、チュハギ中やりニアラ 二人三人で大はもルシテクロするサブル白水 表の記ゆしうせりとりもとトウン園 おとはいそトヨリトははく 華ルワクイアリナをカラ・オカシテ カレアニア不車ヨリルブリュラトルは ミテル人は車位れなりりテーを小はく ケワーンフルナプスキスキスカスキー スキエンがラナンに小は"テュンすうえ 不二丁ゆうなりん、ユショリヤウテウ

りもっちいりクイアリテれる トスル油ラリ来あた人取了年二十九 ホウケアリテミメンテルたたとタイン りりるなんとしてクットリー人名しから 一人殿下スケンと下はあるってたスプト におり上三五りタイ大中二五しテニ人出し

一天を状な 金明をスンメソンレテルカイト し何村父くろうメムケナリケル相方を生 志干年 冬月首代根樂

アタ後をありりますこうちしナメないか

一思度をかきノンランる英科小常す 此外二十分十二 ハワキなといりヨモエクノダイラスカケル 久不先二正後出立水市中二て五人思 をい持タムケタナンラカへうしてあるり

生からうかけニセイニウ ぬめくイワーを 小数ウントで大数大ちでかるそうろ

一野、寝してはくクセマイコンカクルクリをき は外をする 打上がファクイサキニをラフカら時むた ラミテ入後出三小常以本十十十二十七 ガハウキクサノヨルナキにテ三十八代を与

一般馬天物を日本文花ときりでりら ノもろなたにかず必常をかテカサ中 かいカターリタルカフリニテモトニトキン へ入れる小がない日本ラーありますこととく

一个神子取了かり出人 後好色公常 シファライタハレノルコトヤラキタへくうち 小德二十五丁五三年以上進了了十十十二十

多ウイワスシュサンナルするなったう は投ジナケスツルワキョリヤカラトル 出天松タクレハッとくとヤフタイナラへ行

ことる形在かとり こりカタモトニスカータスへ ニテラでカットリラワウ ゆるトーモへ 地々コレカクル 杯ブリックナーレノミイスモト 一番ラを日ち又りしかこうありいから 係代後を ちらうちゃしん大りホテリ ま方こすりすごでいる こうたノソニテュに ソレテスカントスル時イノリュハカレテナルト カリキラガ投ラおいろうちねりいへ行 ノロナマクサマタハサラターけるとうたり プロとはスイサニア地でラカケカユルインリ 文書 信大は本を起きまりまりトラナ 袋上してりく れるロキノイサニイテ云を 老がプスそヨりあり又もこにケラスル テるろなくうとアライラリセレノ段 小神ノノへ行ックハーウロキアカワキッ フミテメクサンニスルウイノセカクレスカウヨ 分りたあってかはは強ねるタクサニ 行テイットサウノウンロへ行成はな

次ノュトクシューカナル拍子ラフミュマカナルと 大ち ケニナュリアリ 子アラウルは引き

さうかっすけっけるからうりから カタのこれテレキタスりも後敬ラかい マワレヤくはあるりたりにとケテニシイテ 後世常アナキノテッケンをおイグき し枚ソラテエルクリュンカクルは人数十こ

一カウ、シテセウシロヤ今天はちスタ 産リとこうかり草といすこうろり

こに人はけいとうそれる」ときすけかんかるもこ イへ上ガッナケチンク時ブリテワキノラ こすけずおかりロウラホリテ付女 ロカンフたのカノーハワといきりカタスきょ フタイえこむんタナキニるかとしているり スキテトルわれてしかケテスドへんなる をノれジメサレンノは大りも草ラナンタマ し丁美かっこころれすようおイワとうそはな 次是目り未八小は一十一十年施八位十十五十多

テスルミツカラカケ生ノ村まとヨリシにはま ナ、ケステ、ポコナップタイへスワルかる

三井寺切しこう生工力力少常り教会で 正かくうと様/あいなりとカダケスやって テンテクヨと生人とテムスをカケと一台水社 アイシライリと信り日ときはなるけど云 カカナ海でとラカクヤへムもかあわアルト フシナキニシラりも生月ラアルテイねる

カンなる今まだとかりてこうりこ トムルははクセライマテックいりはなしんら ころけてとあいうりりたろうりりす カナノ音やナンを月モカスリロナニテック カチックロテカ子ともラスサテメモンち 人をあし生うごトムラねらテアイシライ ヤキラで、直丁本木、水温タクサン二年、私 ノ後小はタクナン二年ガワラハモノルニが多

一の北大しずる日ろくりそ今まできる

一般目一千分了方少之儿 一神んとうる作わるこりりな水を摘

一イサールアクーウョックイテかきち クミテ梅えニックム 中ライナダツル 極にあるり相きないあるこかよろ

一カモ 美日子ダンテカイトリギ市石製

「ワキなころは、更敬い明二出れり又を正成い」とかりするというは、「ないなりましてり」 まな出入

カラナナンスワルロキョリなしける幸し

あっすべきアクイノ下へすケワルなと後や ヤワータレンく・ワーサカブントキラロギレ

タクルリン男水文大い書一かなてよりし しすせりエンミノタシウワタンフリオホッカ 出め常いなるなんろうろくてりゃこかん

トニスル 一中入なからラキテレスラアインライステ 三人様ブキテオないナガ

一は天女スイカン水布 一ちことタメスミトルワクかするまた

こうたカナーなかしフレテラワルイラ 他ノウシロノカタハカクル カウシノメリカハンオーモスキノモンラ おも大トとうカー中スエリララス下去し

一くグラキートクワツスル ーミラヤノシングラ人は時行をかり

一松本三方谁也人

一かられしてなりカナツリスイカラクラ トスイッウンロナケステントにでく ワクシーナテムシャリテヤインライラス

カトリルテ、時ワキの上へけてん イモニックハーラヤカラシラナりくこする りときかいりいコタッナクルサフタ

一位上ことこうろんスキカケサンをいこと 一カン八所 常さく りきょうきっちとうだし 中立了ストでもりトラおう入りちょりき カケタルでもりヒトワーなこスエテニワスス ゆうとうりもフトコロヨリカッたんなし ワキノイサヘワクハワロキカナワクハラーカをラ テヤナウス大飲ノウレにく行うろうこう

一ウシロヨリてホンスイカン出ストリテンなへ

一を全体イナヤヤナーをうまいこうフタイラ

でくうせれてなーツでりは生をなりそうう 生やりラシトメエリ シのラワトリニうきクセマイこりか二年子 ハヤトステノタイけこわりそんていころか

しるう をりとくりゃてにもしりしするち カルた建設を校松一年、丁云りしあ 火シテ れりよりしいこにクカタラユシを

一クリノなニュレカクカ中人了トマアラ キラミテ枝れラ きよりまし

一めをみずーチャウナーテンクワンはいちょう すまかしう我方し十しりタス 立うこんりタスななりとはケニツニガトりする タキこしこうなりキニリタスー切ぜすこうるい 三アリ枚ジャテス

一ウトウ 委日を文初はりならうスサニュ

しいりかとトヘナレトモアリスといからなトりから 一子カタンラスはっナリあるこうにうべ 一マウンヤハナクーミデリリテワキグミアクル 一イマトリ出しヨリミレハワキフトコにヨり神 モ 神三丁をナロキニウタスカウノる衣 ットキテろなたっずノ他ラ後リソラを言 イーワノトキーテはあカキソノマサキス神 ノソムナルモノジニアュリタをかし又りいきアイ シア神ニアウセテタニワタスー中ニマウンヤ

キックハイテあを出来ラストラをライ サヨリイダスワキよりデフタイを中ラ

サマング 一こうはりにからうあえすことするやであらう 出れがこう大 うなことからサンワリけられこうます

クミナニニナツルイロシトスレハめすりいくう 一不いきイノクノイカーでこつすニスル 一日ニテランターへ山信ワキットカムの

カナシャナ ソノテイ 付かりりいり 一ワランヤウノをもくかうか

一つけでイツクニュレヨリイソリトおるず リミテスルーですりなノエトソナキまラ

ワクかり

トノリサンワクハケクセーイ上ハンはヨリライ 内イカニモンフカナル神に ソリトにやりンプフミテス ツクシワテイル

一これいうりいりやスカメトしてこてとう 一フラセハスレントノけいすりとラトリなる 一八名うすり内でイカニでこりか マラかろ ダハスルコレヨりとでりとフミテスクラニスと デイテュキ 切らでリシルフタイ先送ノ トロトスツミカンラーすれいでラより 4をラカスフケンとり中しく大ちとこうん アルエリルートユもどう枝三丁二丁を望 校テスルペカリー中にとしてシワフラ

一切ラスキ南ラナラスクアカンラハラ テョナイラテリカムテイ ムゼンテュアラ トキタテトかりりにいちもれてナコラワカン クワソスルでモラソロしはアハシしてラ アケエスなめりにアワルタチエス、子二 ステるスキラスル

してこりカンメナルラへしいか ーダスケアダへではソケ ロマソアイシライ

一ムクイラモワスレケルなりかみカナイノ

トブリラオス 節を 在三枚久禄寺は三月立古 帯まるうし

一テをウンサニメン・チョン 一ウトウクリサンあるまラセサラトリテサ をでくよいちですをり

トニラヒス 一在五年表月至 南白殿下中紀乃

一ケタモノトノラニタンニプにス人ノトノビノ

一える うかきらかんあるなかりもでするな らしるれむくろも、上ストタウカナリ

一信をサハンメニかりキノイサニュンカクルンテ キノちニをカスノ ワキスクをスワウでか だりかすり 後くちっこうクルケウラノアル ノイルガニアルンテスイカノカタアスリ

しりカクルなりタス 東小海ノまでカノンからむなカナリある一井り、ソリアへ ねるこうこうたたるす

サワカシヤがわるのカケラミシー 月ブミルはヤアラストアリテハスラクミと キカケトニカウノスイカンワカ月ソサン

よくしれノウクハーたサコモテソノティ

一変とスをおか上のなりもスシラあるなり ノサカニイテるわいかりミラスタ キカカケグウン上キカララり おひとう キュンオー上スツホラリないいすべ下ハクス

ちュナノホラ 即あけ枝首すりとへと ナックリレンマハラングワガノちはツクハイ 之後 杨三里久一之中小神二五人

ノ时酸ノあいけスカタナケレハトラくにす

ウキュルはカケテカツクハスラキシカラ

シメラもかはなくもとライノリスエラ 八山伏 医产出儿 东方三力ウナンマラ へ後うりなう也付し他スキステアスを

一多られりも個大にウラスツル

しいけっきまれれりれもいまプトラえ ニフミタクサンニスル ワルキノ山ミルユモナ シャーシアツキハダラセメテねよメクサ ワラユもおよりサンニリミテタクサミで キスラノケハモトノマトグリノティンをノ ノイサへ行うりりつ ラトコノヨレヤンシ イットはもけりちはもにしいこうかうち 地京分小神面平石秋生川野ラ 上スイカンユンギ メカタラスクトも 一を公すーマンテクロキカサラリノ マアイヨヒイタヤス はき三大教会 ハワス日曜人のこラトアインラフンソノ こうとうなりでやりき味べきすしたこう ソノテイアラエンフュヒンでへスラきかと ツィーテュノリーラフナケテックハイ タモト袖ラミテソノテイ ユニョッテ とれナリーしカイラトりとては全ラテス ナクルタフタイクニナワクハイソノテ

グミラソノがろこグリケンラにタイニ らせてんとっちりサナニュンカクに変を ラフョカラスーツノーナンスキュワテるか だをうるいこれのグルケミカメダイサヤカ 水れむタスキアケスアナヤを一後本化 小神とカタシにキンヤスソニスイありり スワウかでしする夫人も久しあてりける かラ ワクハイオカシテントへんこ

ナイ下リカーリ かきうもり、してミソノ ニケントスレハソノテアもを後人グワカノラ リソノテイワルキラトリナラとかれまえ おりなプススミトワテルテぬテ元が

うするうとタイニイタンク

カイルニウオスツクウ はなり近り 神ワルキッステンソフレタルケんあるう たっちゅうこううべ なるる日本 はランメーかった後ニワタス大後接取ラ ルワクかりり上タリテルスラウタカラを

かりなりこでうせてユアスノックラン タイハイニいタルカミテシトなこ その冬三年 花月十七日 物作が写く一種 日之於 日寿 三佛 玄似作人的变形女 卷衣 美女女 首之妻妻 在文禄二十月七日名三玄佐人殿下七 成多的 有时 传燈 千百 養 粉養支

一七松果もりうるを人からりるを おまむとエキザノキンランノカリキスト! ナマラアイノ流してたカフリ石王

タヒラキラ ミル

シルアラアリカタノはたや十ほりイタは ハウナノススカトヒラキテミレ公子為 るとんこり文しもうんうなずニナルナラ た。後れぬとメウシャウカワンでとう ありイタングリマンモデキノオーメスト



